

## 救急救命学科

## 〔進級要件〕

各年次に進級するためには所定の単位を修得しなければならない。

## 第2年次

|          |   |
|----------|---|
| スタンダード科目 | 「アカデミックリテラシー」、「チュートリアル」、「専門職連携基礎演習Ⅰ」、「専門職連携基礎演習Ⅱ」を含め4単位以上を修得すること  |
| オプション科目  | 「生物学」を修得すること  |
| 専門教育科目   | 1年次配当科目のうち、必修科目の中から「ライフサイエンス論Ⅰ」、「ライフサイエンス論Ⅱ」、「人体構造生理学Ⅰ」、「人体構造生理学Ⅱ」、「人体構造生理学実習」、「生化学」、「病院前救急医療概論」、「救急救命処置概論」、「救急救命処置実習Ⅰ」、「救急救命処置実習Ⅱ」、「救急システム実習Ⅰ」、「救急システム実習Ⅱ」を含め18単位以上を修得すること |

## 第3年次

|          |  |
|----------|--|
| スタンダード科目 | —  |
| オプション科目  | —  |
| 専門教育科目   | 1・2年次配当科目のうち、必修科目の中から「病理学」、「公衆衛生学」、「救急症候・病態生理学Ⅰ」「救急症候・病態生理学Ⅱ」、「臨床病態学Ⅰ」、「臨床病態学Ⅱ」、「救急現場活動学」、「小児科学」、「産婦人科学」、「外傷救急医学Ⅰ」、「外傷救急医学Ⅱ」、「救急救命処置実習Ⅲ」、「救急救命処置実習Ⅳ」、「教養総合学Ⅰ」、「教養総合学Ⅱ」および選択必修科目1単位を含め49単位以上を修得すること |

## 第4年次

|          |   |
|----------|---|
| スタンダード科目 | 必修科目15単位修得すること  |
| オプション科目  | 「日本語表現法」、「コミュニケーション論」を含め、計10単位以上を修得すること   |
| 専門教育科目   | 1～3年次配当科目のうち、必修科目の中から「薬理学」、「救急検査概論」、「特定行為処置論」、「精神医学」、「環境障害・急性中毒学」、「救急救命高度実習Ⅰ」、「救急救命高度実習Ⅱ」、「救急システム実習Ⅲ」、「救急システム実習Ⅳ」を含め80単位以上を修得すること |

## 〔先修科目〕

A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目（先修科目）の単位を前もって修得していなければならない。

| A欄  | B欄  |
|---|---|
| 救急救命処置実習Ⅱ（1年次）                              | ライフサイエンス論Ⅰ、ライフサイエンス論Ⅱ、人体構造生理学Ⅰ、病院前救急医療概論、救急救命処置実習Ⅰ  |
| 救急救命処置実習Ⅲ（2年次）                              | 人体構造生理学Ⅱ、人体構造生理学実習、生化学、救急救命処置概論、救急救命処置実習Ⅱ           |
| 救急救命処置実習Ⅳ（2年次）                              | 病理学、救急症候・病態生理学Ⅰ、臨床病態学Ⅰ、小児科学、産婦人科学、外傷救急医学Ⅰ、救急救命処置実習Ⅲ |
| 救急救命高度実習Ⅰ（3年次）                              | 救急症候・病態生理学Ⅱ、臨床病態学Ⅱ、救急現場活動学、外傷救急医学Ⅱ、救急救命処置実習Ⅳ        |
| ビジネスマナー論、救急システム実習Ⅲ、救急システム実習Ⅳ、救急救命高度実習Ⅱ（3年次） | 薬理学、救急検査概論、公衆衛生学、特定行為処置論、精神医学、環境障害・急性中毒学、救急救命高度実習Ⅰ  |
| 救急救命総合学（4年次）                                | 救急救命総合実習  |